

## ■海外情報

### ★IEA 世界のEV 展望 2024 概要《商用車、政策等に関する主なポイント》 (IEA Global EV Outlook 2024)

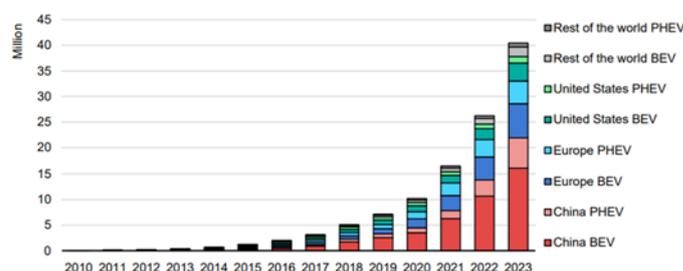
#### ◎ IEA Global EV Outlook について

IEA Global EV Outlook は、世界の電気自動車の最近の動向を特定・議論するための IEA（国際エネルギー機関）の年次刊行物。EV や充電インフラの普及、バッテリー需要、投資動向、主要市場と新興市場における関連する政策動向などの分野を調査。EV の普及を支援する政策と市場システムについて、政策立案者や利害関係者に情報提供する。

#### ◎ IEA Global EV Outlook 2024 の概要（商用車、政策等に関する主なポイント）

- 2023 年の EV 世界販売台数は 1,400 万台近く（新車の 18%）（2022 年は 1,000 万台（新車の 14%））。2023 年の EV 世界販売台数の大部分は、中国(60%)、欧州(25%)、米国(10%)。
- 中国以外の新興国・発展途上国における EV の販売ペースが、EV の世界的な成功を左右。EV シェアが低い国は、EV やバッテリー製造に対する購入補助金やインセンティブなどの政策措置が普及に対して重要な役割を果たしている。
- 各国のエネルギー、気候、産業政策の枠組みは電動化が柱であり、米国の IRA、EU ネットゼロ産業法などの 政策支援により迅速な電動化が続くという信頼性が高まり、産業界の投資が促進。
- 力強い成長期待により、2022 年から 2023 年にかけての EV およびバッテリー製造への投資発表は合計で約 5,000 億米ドル（うち約 40%がコミット）。2023 年世界自動車販売台数の 90%以上を占める大手自動車メーカー 20 社以上が電動化目標を持ち、全メーカーの目標では、2030 年には 4,000 万台以上（訳者注 2022 年自動車世界販売数 8,163 万台）の EV 販売の可能性があり、現在の政策で予測される導入レベルを満足。
- 価格が手頃でないと EV は普及しない。中国は、2023 年に販売された電気自動車の 60%以上が、すでに平均的な内燃機関車よりも安価になっていると推定。中国以外の主要 EV 市場では、ほとんどのモデルで 2030 年までに同等価格に達する可能性あり。自動車メーカーの低価格車普及戦略や低価格のリン酸鉄リチウム電池の利用、リチウムを必要としないナトリウム電池等の技術開発が重要。
- 2023 年、EV バスはバス総販売台数の 3%、EV トラックの販売台数は 2022 年と比較して 35% 増加。中国で約 3%、欧州で 1.5%の EV トラック販売台数シェアを占める。
- 米国、EU などの排ガス（CO<sub>2</sub>）基準強化により電動化が促進され、EV バスの保有は 2035 年までに 7 倍、EV トラックの保有は約 30 倍に増加と推定。2035 年までに充電容量を 20 倍に増やす必要があり、車庫充電に加え、主要な輸送ルートに沿って EV 長距離トラック輸送を可能にする公共の経路充電容量を増やす必要あり。政策支援等により地域の送電網への負担を抑えながら、安全・安価かつ低エミッションの電力供給確保が不可欠。

Global electric car stock trends, 2010-2023



Notes: BEV = battery electric vehicle; PHEV = plug-in hybrid vehicle. Includes passenger cars only.  
Sources: IEA analysis based on country submissions and data from ACEA, EAFO, EV Volumes and Marklines.

IEA, CC BY 4.0.